

日本の甲冑

武具 武器展

武家社会の文化より



短刀 資正作（堺の刀工）



刀 井上和泉守国貞（大坂の刀工）



色々威胴丸



黒漆八幡紋鉢振



鉄黒漆塗兜巾形兜



鉄黒漆塗四十八間筋兜鉢 春田光定作



唐冠形兜



雑賀兜



徳川家康の形見分けで尾張徳川家に譲られた具足

日程

令和二年

2月10日月 - 3月22日日

休館日 2月 12.19.26日(水) 3月 4.11.18日(水)

開催時間

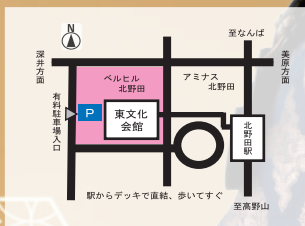
10:00 ~ 18:00 ※最終日は16:00まで

場所

堺市立東文化会館 2階 ギャラリー

(「なんば」から急行で20分 北野田駅下車)

入場無料



【主催・お問合せ】

堺市立東文化会館

〒599-8123 堺市東区北野田 1084-136

協力 一般社団法人 日本甲冑武具武器研究保存会近畿支部

TEL 072-230-0134

日本の甲冑・武具・武器展

～武家社会の文化より～

日本の甲冑は、戦いの道具であると共に、武士の象徴としての役割がありました。時代を超え、武器や戦闘形式の変化により常に改良が加えられると共に、華やかさも求められました。

明治維新による武士階級の終焉や軍備の近代化にともない実用に供されることはなくなりました。現代では鍛鉄・皮革・漆工芸・金工・組紐など様々な分野の技術を駆使して製作された美術品とも言えます。この展覧会では高度な技術を駆使して作られた日本伝統の美と凛（りん）とした武士の魂を体感していただきます。

なお本展では、堺が日本最大の生産地であった火縄銃や、堺で活躍した刀工が作った日本刀なども展示します。



鉄黒漆塗桃形兜



鉄黒漆塗桃形兜



鉄黒漆塗桃形兜



鉄黒漆塗桃形兜



徳山藩毛利家童馬具



丸に十文字酢漿草紋陣笠



菅打式馬上筒 銘 榎並勘左衛門作（堺製）



火縄銃 国友丹波



上段は堺製、下段は種子島製



色々威腹巻